第1回ワークショップの意見の整理

○第1回ワークショップでは、さまざまな観点からワークショップの進め方や
 婦中地域の課題についてご意見をいただきました。

○皆様からいただいたご意見を整理したところ、6つの視点にまとめることが
 できました。

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
① 地域全体の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 商業施設、行政関係施設、文化施設が点在していて、地域の中心がどこなのかが不明確だと思う。どこを中心にしていくかも含めてまちづくりの方向性を議論したい。
② 地区の維持・発展	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区によって人口の増えているところと減っているところがあるので、施設配置がアンバランスになっている。このままでは公共施設がないことが更に過疎化を加速させてしまう地区がある一方で、人が増えている地区ではさらに施設や駐車場が必要になり、格差が広がってしまう。地域全体として対策を考えたい。 ● 地域内に人口が増えている地区と減っている地区があるが、子どもの数が増える策を考えて地域全体を活性化すると共に、双方が支えあって暮らしていくことが大切だと思う。人口が減少している地区の施設を減らす方向にはしたくない。 ● 年間利用者数が人口の多い地区では多く、少ない地区では少なくなるのは当たり前のことだ。人口が少ない地区の施設は利用人数が少ないから廃止とい

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<p>う話にならないように、地区人口を踏まえた適正なデータに基づいて検討してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 速星地区と鵜坂地区に機能が集中しているため、朝日地区や神保地区は過疎化しているように感じる。すべての公共施設を集約するのではなく、地区内にある程度バランス良く分散させてほしい。 ● 利用率が少なくても地区にとっては重要で不可欠な施設があるので、まず地区ごとで最低限必要な施設と地域全体で必要な施設を検討する必要があると思う。 ● 高齢者、特に一人暮らしの方にとって自宅から近い所に集いの場があることは大切だ。公民館は地区住民が集まれる唯一の場なので、利用人数が少ないから廃止できるものではないと思う。8地区全ての公民館を維持したい。 ● 小学校と公民館は自治の中心を担っている施設なので、1つの地区に一公民館、一小学校という基準は残すべきだと思う。地区からこの2つがなくなってしまうたら、地域の発展が難しくなる。 ● 過去に小学校の統合ができたのだから、集会施設を小学校区に1つにすることが絶対できなというわけではないだろう。しかし、現実には難しい面があるので、すぐというわけではなく、将来的には集会施設を集約する選択肢もありうるということかと思う。 ● 同じ婦中地域内でも川や山を越えると状況が大きく

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<p>く変わるので、地区による状況の違いを踏まえる必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 速星公民館は速星地区以外の地域住民や富山市民全般にも多く使われているので、利用率が高くなっている。そういう市や地域全体で利用されている公民館と特定の地区住民のための公民館とでは利用者の範囲が異なるのだから、利用人数を比較して廃止の判断をするのはおかしいと思う。 ● 婦中スポーツプラザプールやストリートスポーツパークは利用者が少ない。プールは屋根の開閉ができなくなっているし、富山市内の市民プールは次々に閉鎖されているので、いずれ廃止されるのではないかな。
③ 子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校の統廃合については別の場で検討を進めていると聞いたが、そこでの検討とこのワークショップとはどのような関係にあるのか。市長が小学校の統廃合はやむを得ないと言っているという話もあるので、話し合う前に統廃合はもう決まっているのではないかと非常に不安だ。 ● この先地域に家を建て、移り住んでくるのは30～40代の共働き世代が多いと思うので、自宅の近くで子どもを預けられる場所を確保できるように、地域内の保育所はできるだけ維持したい。 ● 保育所は民営化していけると良いと思うが、利用者数の少ない保育所だと難しいのではないかな。民営化するための条件や基準があるのか。

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<ul style="list-style-type: none"> ● 未就園の小さな子どもと一緒に、気兼ねなく過ごせる施設があまりない。親子でも、子どもが一人でも利用できるような子育て支援施設を、児童館や公民館などの既存施設の活用も考えながら整備できると良い。
④ 利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ施設は人口の多い地区に集中しているので、人口の少ない地区からの利便性を考え、アクセスを良くすることを検討したい。
⑤ 安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動の影響などもあり防災への関心が高まっていると思う。婦中地域にはこれまでに河川氾濫の被害を受けた地区や5mの浸水が想定されている地区があるので、水害が起きた際に対応できる様に新たな避難所を設けたり、水に強い避難所を整備する必要がある。 ● 学校は地域の中核となる施設であり災害時の避難所にもなっているので、活性化や防災を踏まえ、児童、生徒数が減少したとしても維持したい。
⑥ 将来負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民館にはコミュニティセンターなど他の機能も入っているので、一般的な公民館と同じように統廃合の議論を進めて良いのか。行政の公民館と地域の公民館の2つがある地区と1つの公民館に双方の機能がある地区とがあるので、各地区の状況や公民館に他の機能を複合した経緯、改修等に制限がかかる財源を使用していないか等を確認した上で検討を進めた方が良い。 ● 安田城跡ガイダンス施設のように利用者が少なか

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<p>ったり、その場所になければならない理由があまりない博物館等の施設は、他の施設に統合、集約してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鵜坂資料保管庫や婦中埋蔵文化財収蔵庫は、市民が利用する施設ではない。稼働すれば電気代がかかるし、老朽化しているので解体するにしてもお金がかかるだろう。婦中行政サービスセンターの空きスペースを活用するなどできないのか。 ● 婦中行政サービスセンターにはかなりの空きスペースがあるので、他の機能を複合したり、民間企業や団体に貸して有効活用してはどうか。規模の縮小や廃止も選択肢としてはありうる。